

No.52

平成30年 11月1日

☆えんがる 議会だより

ピザづくりに挑戦！

大規模停電を考える！！

ごみ減量化に向かって ごみ焼却施設完成！

平成29年度決算審査特別委員会

平成30年第5回定例会

えんがる話

質疑白熱！！（決算審査質疑）

一般質問

北海道胆振東部地震

大規模停電を考える！！

遠軽町防災ガイドマップの周知徹底を図らなくては。

命を守るために、一人ひとりの取り組みが大切であることの認識徹底して、自助・共助から公助へ、そして減災に導かなければ。

「水道が断水する」と誤った情報が流れた。

誤った情報で給水が増えれば、それこそ断水の可能性が高くなる。

確かな情報体制と広報のあり方が望まれている。

列車は運休しているのに町内数か所で、長時間**遮断機が降りたまま、信号機の鳴りっぱなし**が続き、通行人や通行車両に大きな支障があった。

誤作動箇所の早期発見（点検）と JR 関係部署に早急な修理対応を要請しなければ。

地震による大規模停電が発生！
9月6日未明、北海道胆振東部地震が発生し、その影響により北海道全域が停電しました。
本町では、地震による直接の被害はなかったものの、地震発生からおおよそ24時間にわたり町内全域が停電となり、信号が停止するなど住民生活に大きな影響がありました。
町は対策本部を設置し、停電により水道が使用できない家庭に給水するなどの対策を実施。議会としても情報の収集を行うとともに、住民の皆様への説明対応などを行いました。

その中で様々な状況や課題が浮き彫りになってきたことから、議会内でも意見交換を行ってきたところです。

今後とも町と協力しながら、それらの課題に取り組んでまいります。

広報車が聞き取りにくかった。
停車して行うなど方法を再検討しなくては。

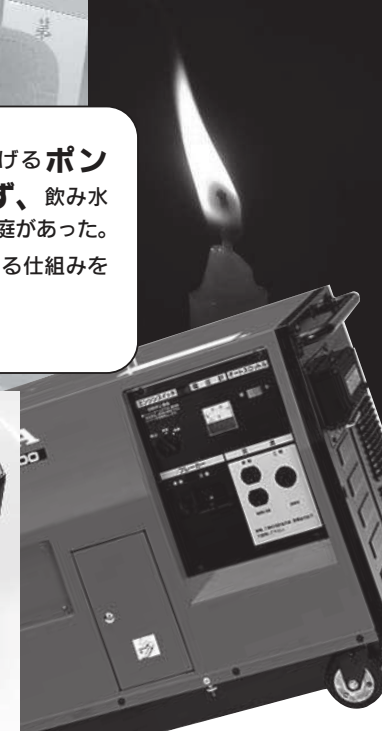
地下水をくみ上げる**ポンプが作動せず**、飲み水を確保できない家庭があった。
早急に水を配給する仕組みを確立しなくては。

若年代の方はインターネットを通じて、情報収集に努める傾向がある。

今後**SNSを活用した災害状況の発信**も必要では。

今までの**防災メール**は気象庁の警報を流すだけだったような気がするが、もうひと工夫必要ではないか。
これを契機にハード面とともにその内容についても見直しを行うべきではないか。

日常的に稼動している公共施設には、**携帯電話用充電設備**の用意が必要。





平成 29 年度

9月10日～13日までの間、平成29年度決算特別委員会を
開催しました。(詳細は) 8～11 ページを参照

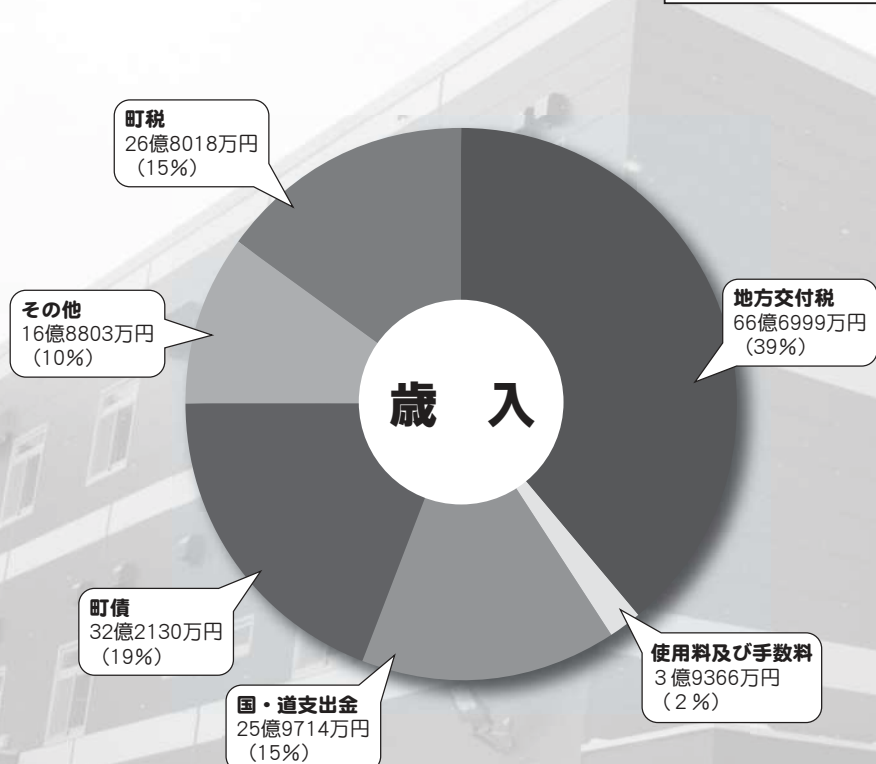
決算審査 質疑白熱



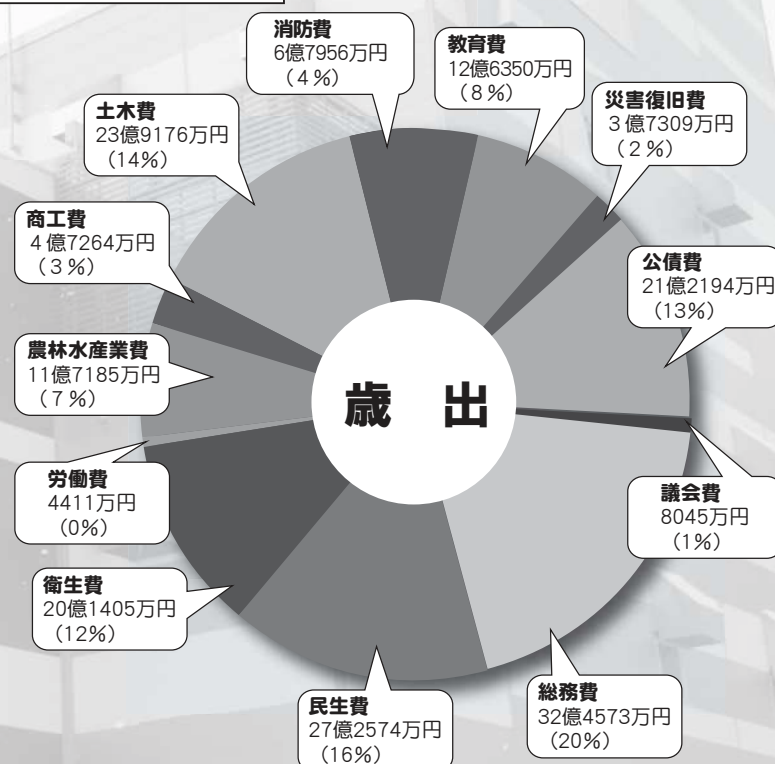
ごみ焼却施設完成

平成30年第5回 町議会（定例会）

一般会計決算の内訳



入ってきたお金 **172 億 5030 万円**



使ったお金 **165 億 8442 万円**

第5回定例会は、9月7日から13日まで開催し、会期中に平成29年度の決算について、決算審査特別委員会を設置して審査しました。
平成29年度の建設事業で大きなものは、遠軽地区広域組合が新たに建設した焼却施設建設事業の負担金で、約9億8千万円を投じて完成しました。

燃やせるごみの種類が増えたことで、不燃物を処理する旭野一般廃棄物最終処分場への搬入量が減り、最終処分場の延命化が図られます。
そのほか、7月初めの大雨への対応などの行政報告、人事案件、表彰、条例制定、補正予算等を審議しました（関連記事12、13ページ）。

平成29年度各会計収支（歳入・歳出）一覧 ※カッコ内は前年度比

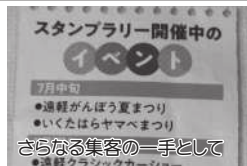
会計名	入ってきたお金（歳入）	使ったお金（歳出）	差 引
一般会計	172億5030万円 【 3.8%増】	165億8442万円 【 3.7%増】	6億6588万円
特別会計			
国民健康保険事業	25億6462万円 【 2.5%減】	25億4963万円 【 1.9%減】	1499万円
後期高齢医療	3億1035万円 【 5.2%増】	3億1034万円 【 5.8%増】	1万円
介護保険事業	18億3232万円 【 8.1%増】	17億5715万円 【 7.0%増】	7517万円
計	3676万円 【 31.3%減】	3663万円 【 31.4%減】	13万円

歳 入

一般会計は、町の基本的な仕事をするための予算です。歳出について平成29年度は前年度と比較して約5億9千万円増加しており、衛生費と農林水産業費を合わせて約13億円増加しています。減少した経費もありますが、特徴的な増加要因を示せば、遠軽地区広域組合が建設した新たな焼却施設建設事業への負担金、麦乾燥調整貯蔵施設整備事業への補助金に伴うものです。

歳 出

歳入とは皆さんから納めていただいた町税や国や道から入ってくるお金のことで、町の事業を実施するのになくてはならない「財源」と呼ばれるものです。
平成29年度は前年度と比較して約6億3千万円増加していますが、これは、建設事業への経費増加に伴い、その財源である国・道からの補助金が約6億2千万円増額したことが主な要因です。



スタンプラリー開催中の
イベント
7月中旬
●遠軽がんばり夏まつり
●いくたはらヤマベまつり
さらなる集客の一手として
●遠軽クラシックカーショー



秋元直樹

商工費
地域イベント事業
イベントスタンプラリーの実施を

平成29年度は、各種イベント参加者数が平成28年度以降に比べ緩やかではあるが、順調に増えてきている。合併市町村の特性を活かし、更なる集客を促すためイベントスタンプラリーの実施を。
商工観光課長
集客を促すための施策については、イベントスタンプラリーも含めた中で判断してまいります。



より進学しやすく



岩澤武征

教育費
奨学金貸付事業
返済条件の緩和を

奨学金の返済が、大学卒業後2年目から7年間でという条件に苦学している人が多い。
返済条件の緩和を考えるべきではないか。
教育部総務課長
返済条件の緩和について、奨学金貸付基金の残高や貸付・償還状況、他奨学金併用の実態等を調査します。



今年度から活躍している
小田島隊員



稲場仁子

総務費
地域おこし協力隊事業
協力隊員の定任化を

任務終了後遠軽町に定住できるよう、職務内容も含めさらなる対策を講じるべきではないか。
企画課長
隊員の特性を最大限に生かせるよう関係各課と連携を図りながら、定住できる環境づくりに努めます。



さらなる効果的な取り組みを



高橋義昭

総務費
広報紙発行事業
広報手段の多様化を

現行の広報紙も維持しながら、スマートフォン等でリアルタイムに情報を発信できるよう対策を講じてはどうか？
企画課長
発信する情報や運用方法などを精査の上、効果的な発信方法を検討します。



利用促進の対策を



佐藤 登

商工費
太陽の丘えんがる公園管理運営事業
今後の利用者増加に向けて

サンヒルハウス、文化研修館、緑地広場の利用が平成28年度よりも減少しているが、今後の利用増加に向けて対策はどのように考えているのか。
商工観光課長
各施設について、町のホームページ等で広報に努め、利用増加を図っていきます。

町の観光をどのように進めたのか？



第三分科会

平成29年度
決算審査
質疑白熱

決算審査は、前田篤秀議長及び議会選出監査委員黒坂貴行議員を除く全委員で構成された決算審査特別委員会（阿部君枝委員長）を設置して審議しました。



定住化に向け新たな
アイデアに挑戦



稲場仁子

総務費
移住定住促進事業
事業効果と今後の展開は

この事業の効果はどのようにとらえているのか。
今後に向けて事業内容を再考すべきではないか。
企画課長
事業効果が少なく実績がないことから、新たな制度設計の構築に努めます。



新たな町の特産品を



前島英樹

商工費
物産振興事業
特産品開発支援

遠軽IC道の駅開設を控えている中、更なる特産品開発を促進するため、制度の周知と拡充が必要ではないか？
商工観光課長
広報・ホームページ・各種団体等へ周知を行ってきたところですが、今後更なる周知に努めてまいります。



冬季観光にも注目



山本 悟

水産業費
交流促進施設やまびこ管理事業
やまびこの利用者増加を

いこいの森が平成28年度の大震災で入館者も減少した。いこいの森も整備されたので、施設の利用者増加を図る対策は。
丸瀬布総合支所産業課長
日頃の集客対策に加え、冬季観光イベント等を開発し、利用者の増加に努めたい。



効果的な周知を



竹中裕志

消防費
防災対策事業
災害時避難の周知は

先般の地震では長時間停電など不安な状況が続いたが、本町における災害時の被災状況、避難指示等の周知についての対応は。
危機対策室参事
えんがる防災情報メール等の発信のほか、広報車・職員の巡回による周知を行うことになっていきます。



今後いかにあるべきか



岩澤武征

総務費
エネルギー対策事業
エネルギー対策事業の内容検討を！

この10年間、太陽光発電とペレットストーブの普及に努めてきたが、近年設置数が減少している。
新エネルギーとしての補助の内容を再検討すべきではないか。
企画課長
事業効果を検証するとともに今後の国の動向を踏まえ、補助内容を検討します。

民生費

介護人材育成事業

一層の介護人材の育成を

渡部正騎

介護職員初任者研修については、受講件数が減少していることから、この制度の周知徹底と介護福祉士実務者研修への制度拡充を行う考えは、人材確保のため周知徹底を図ってまいります。制度拡充については、人材確保の後に検討してまいります。

保健福祉課長

担い手不足の解消を

民生費

高齢者・身障者助成事業

福祉対策の効果を上げるために

今村則康

高齢者・障がい者の助成事業について更なる努力をするべきではないか。

保健福祉課長

いわね大橋の通行止めの影響を考慮し、関係する対象者に助成券を追加交付する対応をいたしましたが、今後も社会情勢に応じ必要な助成事業について取り組んでまいります。

のりもの助成証

住所 遠軽町

個々に必要な助成を

民生費

学童保育事業

全域で実施時間の統一を

渡部正騎

丸瀬布は18時まで、生田原と白滝は17時半までとなっている。子育て世代の働きやすい環境構築のため、全地区で18時まで統一する考えは、子育て支援課長

安国地区より要望がありますが、職員が確保できずお応えできておりませんので確保に努めてまいります。

子育てしやすい環境へ

商工費

企業振興促進助成事業

町外企業への助成について

佐藤 登

平成28年度に6件、平成29年度に7件あるが、町外企業の申請はあったのか。町外企業を優遇し、人口と経済の活性化を促すべきと思うがいかがか。

商工観光課長

町外企業の申請はありません。企業振興については、町内町外企業に関わらず、本事業を推進していきます。

企業誘致で活性化を

衛生費

リサイクル推進事業

小型家電製品の無料回収について

山谷敬二

回収ボックスの設置状況はどうなっているのか。また、不法投棄による処理が行われているが、町はどのような対策をとっているのか。

住民生活課長

役場、各支所の4か所となっています。不法投棄については、防止に向け看板を設置するなど引き続き周知を図ってまいります。

利用しやすい回収方法を

高齢者や子どもたちのためにどのようにお金が使われたのか？

平成29年度 決算審査 質疑白熱

決算審査特別委員会審議 質疑 つづき

土木費

除雪対策事業

安全に通行できる除雪を

山本 悟

除雪について減額決算であるが、減額の理由及び除雪作業に対する評価はどうか。そして、今年の除雪対策は。

建設課課長

減額の理由は降雪量が少なかったためで評価は良好であり、今後も安全な冬期交通確保に努めます。

安全な冬道を

総務費

賦課徴収一般経費

収納率の向上にさらなる努力を

佐藤 昇

町税の滞納分の収納率が増加し努力の跡が見えるが、収納率向上の大きな要因は何か。また、今後の収納率向上に向けた対策は。

税務課長

差押え・面談等、様々な対応によるものと考えており、今後も個々の状況に対応してまいります。

負担の公平へ向けて

民生費

老人憩の家管理事業

施設のバリアフリー化を

佐藤 昇

生田原老人憩の家について、バリアフリーの推進という視点で併設する生田原スポーツセンターのトイレの洋式化と合わせ、利用者の立場から多目的トイレの設置はできないか。

生田原総合支所長

施設の高齢者・障がい者の利用状況を踏まえ、必要に応じて検討してまいります。

利用者目線に対応を

民生費

高齢者在宅サービス事業

高齢者支援について

竹中裕志

本町における「高齢者福祉サービス事業」について、除雪や外出等のサービス内容の周知を今後どのように充実させるのか。

保健福祉課長

パンフレット等を保健福祉課窓口、各介護事業所、病院等に配布するとともに、相談対応する中で支援が必要な方に周知を図ってまいります。

サービスの周知を

民生費

児童館運営事業

施設整備の促進を

今村則康

児童館の利用者が増加していることから施設が手狭となつてきている。また、指定避難所には収容しきれない地域もあることから児童館を改築する際は複合的な施設として改築する考えはないか。

子育て支援課長

共働きの増加に伴い利用者が増加していることから、改築に当たっては児童の安全確保も考慮したうえで検討してまいります。

使いやすい施設へ

遠軽町から表彰される方

遠軽町表彰条例に基づき、次の方々を表彰することについて原案のとおり可決しました。

【自治功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
大通北7丁目	河 原 英 男 氏	遠軽町教育委員会教育長	・12年以上の教育長の職にある方又はあつた方
南 町 3 丁 目	落 合 幸 子 氏	遠軽町スポーツ推進審議会委員	・20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方又はあつた方

【社会功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
東 町 3 丁 目	藤 原 雅 彦 氏	全自動血圧計1台及び専用架台セット1台	・公共のため30万円以上の金品を寄附した個人

【消防功労】

住 所	氏 名	公 職 名	要 件
南 町 4 丁 目	石 山 友 和 氏	遠軽町消防団員	・消防団員として20年以上勤務した方（在職中）
丸 瀬 布 中 町	谷 口 裕 美 氏	遠軽町消防団員	
西 町 3 丁 目	若 井 政 彦 氏	遠軽町消防団員	
南 町 3 丁 目	花 山 毅 氏	遠軽町消防団員	
大通北4丁目	山 田 未 央 氏	遠軽町消防団員	

路線名 南1丁目中通
起点の岩見通南1丁目
1番40地先を岩見通南1
丁目2番20地先とし、延
長の773mが699m
と一部廃止
(仮称) えんがる町民セ
ンター建設事業に伴い町
道路線の一部を廃止しま
した。

路線名 鉄道沿線通
起点の岩見通南1丁目
1番39地先を岩見通南2
丁目3番地先とし、延長
の429mが314mと
一部廃止

町道路線の一部廃止

路線名 北支湧別川沿線
終点を白滝北支湧別80
番地先から白滝北支湧別
298番地先に変更
平成28年度の大雨によ
る災害に伴い町道路線を
変更しました。

町道路線変更



子どもたちが安全に遊べる公園を〜いこいの森〜

◆請負契約
◎平成30年度丸瀬布第2
号源泉送湯管布設工事①
高橋・紫光JV②577
7万円◎平成30年9月14
日〜平成31年3月20日

国内遊具の安全対策に
係る設備の増設等による
設計変更に伴う契約の変
更です。

①契約事業者②契約額
③工期
◆変更契約
◎平成29年度いこいの森
整備工事(線越)①渡辺・
管野・大同JV②(変更前)
2億2950万円(変更
後)2億3594万円◎
平成29年12月13日〜平成
30年10月31日

工事請負契約

○基金運営事業
・まちづくり振興基金積
立金 307万円
指定寄附金6件、ふる
さと納税寄附金300件
です。
○戸籍・住民基本台帳管
理事業 32万円
・戸籍電算システム改修
業務委託料
総合行政システムの更
新に伴うシステムの改修
に係る経費です。



損壊した蜂の巣林道

○国民年金事業 84万円
・国民年金システム改修
業務委託料
国民年金制度の改正等
に伴うシステムの改修に
係る経費です。
○民間社会福祉施設整備
事業 242万円
・有料老人ホーム整備事
業補助金
有料老人ホームのスプ
リンクラの整備に係る
購入に際する経費です。
○商店街助成事業 265万円
・商工業振興補助金
中小企業者の店舗近代化
に係る経費に対する補助金
です。
○いこいの森管理事業 175万円
廃車デイズル機関車の
購入に係る経費です。
○災害復旧事業 1703万円
・公園緑地災害復旧工事
・蜂の巣山遊歩道災害復
旧に際する経費です。

人 事

◆人権擁護委員の推薦
平成30年12月31日を
もって任期満了となる委
員として
六 車 潔 氏
(生田原)
岩 船 定 男 氏
(白 滝)
の推薦に同意しました。

条例制定

◆遠軽町道の駅遠軽森の
オホーツク条例の制定
建設中の道の駅に關す
る条例です。
総務・文教常任委員会
に付託し閉会中の審議と
なりました。



愛される観光拠点を目指して

補正予算

主な内容

平成30年度一般会計補
正予算(第5号)につい
て主なものをお知らせし
ます。
○国民年金事業 84万円
・国民年金システム改修
業務委託料
国民年金制度の改正等
に伴うシステムの改修に
係る経費です。
○民間社会福祉施設整備
事業 242万円
・有料老人ホーム整備事
業補助金
有料老人ホームのスプ
リンクラの整備に係る
購入に際する経費です。
○商店街助成事業 265万円
・商工業振興補助金
中小企業者の店舗近代化
に係る経費に対する補助金
です。
○いこいの森管理事業 175万円
廃車デイズル機関車の
購入に係る経費です。
○災害復旧事業 1703万円
・公園緑地災害復旧工事
・蜂の巣山遊歩道災害復
旧に際する経費です。

オープンに向けて！ 道の駅条例の制定が提案！

旧工事
7月3日から4日にか
けての大雨による災害復
旧に係る経費です。
○教育振興一般経費 136万円
・学校行事負担金
南中学校吹奏楽部の東
日本学校吹奏楽大会出場
に係る経費です。
○社会教育各種大会参加
費助成事業 1000万円
・社会教育振興補助金
遠軽高等学校吹奏楽局
の全日本吹奏楽コンク
ール出場に係る経費に対す
る補助金です。

◆教育委員会委員の任命
平成30年11月8日をも
って任期満了となる教
育委員会委員として
横 田 昌 弘 氏
(白 滝)
の任命に同意しました。

町政を質す!!

平成30年第5回町議会(定例会) 一般質問には、3人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。



稲場 仁子 議員

U I Jターンによる企業・就業支援を

16



佐藤 昇 議員

高齢者や障がい者にやさしい町有施設の整備を

17



阿部 君枝 議員

I C Tを活用した学習機会の充実を

18

一般質問

ここが聞きたい!

一般質問とは?

一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

地域の林業・木材産業の振興に向けて ―国へ意見書を提出―

意見書

議員提案により意見書が提出され、可決し関係省庁等に送付しました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出者等 前島議員ほか4人)

全国の森林面積の約4分の1を占める本道の森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される森林環境譲与税(仮称)を活用した地域の特性に応じた森林

整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

(提出先) 衆・参両議院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか

研修を終えて

議会広報づくりの向上を目指して
―仁木町議会広報編集特別委員会を訪問―

8月21日、議会広報特別委員会は仁木町議会を訪問し、議会広報研修視察を実施してきました。

同議会広報編集特別委員会(住吉英子委員長)は、過去に議会広報コンクールを複数回表彰されている議会広報の先進地であり、紙面構成や編集方法の手法等について指導



仁木町議会広報編集特別委員会
住吉英子委員長



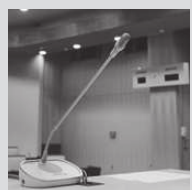
広報コンクールを表彰されている
技術を学んできました

いただきました。意見交換では、紙面のレイアウトやデザインといった技術なことだけではなく、今でも道内外の議会広報の先進地へ積極的に視察を行い、そこにいいものがあればすぐに取り入れており、「読みたくなる議会広報紙」の作り方について学ぶことができました。

議会を傍聴してみませんか?

定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)
臨時会は必要に応じて随時開かれます。

今、どのようなことを話し合い、決めているのか。
子や孫の未来はどうなるのか。
その答えはここにあります。



ただ 町政を質す!!

一般質問

佐藤 昇議員



問 高齢化率の上昇に伴い、歩行等に支障が出たり、そのことが原因で転倒事故の危険性も高まったりなど、将来の健康に不安を抱える高齢者が増えています。

一方、国や地方公共団体では、障がい者の法定雇用率が平成30年度に2・3%から2・5%に引き上げられ、更に平成33年度までには0・1%引き上げる計画も示されています。

そうした社会環境の変化の中で現在の町有施設を見た場合、高齢者や障がい者にとって利用しやすい環境という点では改

善が必要と考えます。

1 高齢者や障がい者が利用しやすい環境づくり、障がい者の雇用環境整備なども念頭に入れ、今後計画的にバリアフリー化を推進していく考えは。

2 その年、その地域によつて温度差はあるものの、夏場における熱中症予防、対策という観点から、特に利用頻度の高い役場関連などの施設に冷房設備等の設置を図る考えは。

町長 1 町有施設は、高齢者



誰もが使いやすい環境へ

や障がい者が多く利用するため、施設の利便性や安全性の向上を図ることが重要であることから、新築、改築の際には「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）等に基づきその対応をとってきたところです。

一方、既存の老朽化した施設に対しバリアフリー化を推進していくことは、多大な費用がかかるため、その施設の高齢者・障がい者の利用状況を鑑みながら必要に応じて階段に手すりを設置、専用駐車スペースの確保、出入口の改修などの対応をとってきたところであり、今後においても同様に対応していきたいと考えています。

2 役場本庁舎、各総合支所庁舎には冷房設備はなく、げんき21には一部冷房設備はありますが、現在、これらの施設に多大な費用をかけ冷房設備

町長 役場本庁舎は、3階に上がるのが大変な方などは都度職員が対応するなど不便をかけないよう努力していますので理解願います。

再問 常に町民の多くが利用する役場本庁舎はスロープもエレベーターもなく、議会傍聴にも車いすの方が来づらい状況。生田原支所のトイレも和式しかないなどの問題もあり、改善が必要では。

問 答

問 高齢者や障がい者にやさしい町有施設の整備を利用状況等を見ながら必要に応じた対応したい

ただ 町政を質す!!

一般質問

稲場 仁子 議員



問 まち・ひと・しごと創生基本方針2018が去る6月15日に閣議決定されました。この基本方針は、東京一極集中を是正するため、平成31年度から6年間で地方の就業者や起業家を計30万人増やす数値目標を設定し、現行の5か年計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に続く平成32年度からの新たな5か年計画の策定に着手するとしたものです。

この基本方針の中でも、「わくわく地方生活実現政策パッケージ」の若者を中心としたUIJター

ン対策の抜本的強化など、

は、町としても今後取り組んでいかなければならないと考えております。

UIJターンによる起業・就業（事業承継を含む）においては、単に起業にかかる費用を助成するに止まらず、住まいの確保や有利な資金融通、リカレント研修、雇用する企業への助成とかなり幅広い支援策を実施するとしています。

そこで、現在起業・就業という観点から町の施策を見ると、新規就農を別にして、地域おこし協力隊への助成と大型免許取得がありますが、さらに充実させる必要がある

と考えます。

町としてこの事業にどう取り組むのか町長の考えをお伺いいたします。

町長 地域おこし協力隊事業については、地域外の人材を積極的に受け入れ、その人材の定住・定着を図るとともに地域における活動によって地域の活性化や産業振興等を図ること目的として平成27年度から取り組んでおり、これら隊員への助成として、住宅家賃経費の助成をはじめ自己研さん経費及び地域おこし活動経費を助成してきています。

さらに隊員活動後の本町への定住・起業支援をするための補助制度を設置しています。

また、大型免許等資格取得支援事業については、同じく27年度から取り組んでおり、若年層を中心とした雇用を確保する施策として、29年度までの3年間で190件の助成を行っています。

これらの事業については、まちづくりの重点戦略として事業の推進に取り組んでいます。

今後は起業・就業支援という総合的な観点において事業効果を検証し、制度改正を含めた見直し



新しい制度の活用を

総務部長 制度的に細かい内容が出た段階で、どういう形がいいのかも含めいろいろな方面から検討し、積極的に取り組んでいきます。

問 答

問 UIJターンによる起業・就業支援を事業の充実発展に努めていく

を検討するなど事業の充実や発展に努めていきたいと考えています。

再問 国の新たな制度である「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を活用してUIJターンを希望する方々への環境整備をすべきではという観点で質問していますが、どう考えていますか。

常任委員会 施設調査 レポート

総務・文教

児童・生徒たちの 今と未来を考える！

総務・文教常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

【主な視察のポイント】

- ①各小中学校の現状
- ②校長との意見交換

○白滝地域

- ・白滝小学校
- ・白滝中学校

○丸瀬布地域

- ・いこいの森
- ・丸瀬布中学校
- ・道の駅まるせつぶ
- ・お試し暮らし体験住宅（丸瀬布1号）

○生田原地域

- ・安国小学校
- ・安国中学校
- ・生田原小学校
- ・生田原中学校

○遠軽地域

- ・瀬戸瀬小学校
- ・瀬戸瀬パークゴルフ場
- ・ロックバレースキー場



白滝中学校校長と意見交換

町の教育現状を校長たちとの意見交換から見ることができた



スポーツ協会による新設備（ボルタリング）

（総括より抜粋）
児童・生徒の防犯、災害への安全確保について現状を再確認し対応を

- ・遠軽小学校
- ・えんがる温水プール
- ・南小学校
- ・えんがる湧別川多目的広場
- ・えんがるテニスコート
- ・えんがるソフトボール場
- ・東小学校
- ・遠軽中学校

ただ
町政を質す!!

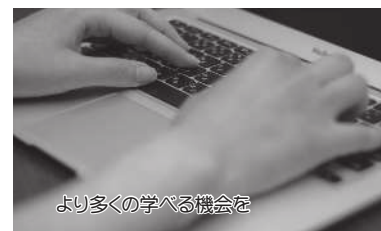
【問】北海道教育委員会は千歳科学技術大学と連携協定を締結し、本道教育の充実・発展に資するため、費用ゼロで場所を問わずに学びの機会を提供できる同大のeラーニングシステムの活用促進に取り組んでおります。

同大のeラーニングにおいて、英検のCBTを作成し、筆記、リスニング問題が用意され、すべての問題に取り組み「知識習得学習」、回答率に応じて出題内容が変化する「復習モード」、テスト形式で問題に取り組み「模擬テスト」の3種類が用意されています。

【教育長】

① 北海道教育委員会の共催で実施するこのシステムの活用に関する講習会について、町内の各小中学校へ開催案内を通知します。

② このシステムを活用する考えがあるかを伺います。



より多くの学べる機会を

【問】小児がんの中に、網膜芽細胞腫という眼のがんがあります。発症は5歳までに95%が診断されており、その多くは家族が子どもの目の異常に気づき受診に至っています。

【素の一つであると考えております。】

同大のシステムの活用については、学習計画・学習課題に応じて、各学校が検討することとなります。町教育委員会は、必要な情報収集やシステムの理解、活用方法の検討などを進め、学習機会の充実に努めて参りたいと考えております。

【保健福祉課長】

項目をいれるかどうかについては答えられませんが、健診については身体部位チェックで確認することになっています。

【町長】

平成25年度から道内で先駆けて、3歳児健診に「視能訓練士」による検査を実施しています。

【再問】健診チェック欄に網膜芽細胞腫予防の「白色瞳孔」を記載できませんか。

一般質問

阿部 君枝 議員



【問】ICTを活用した学習機会の充実を

【答】情報を提供し学習機会の充実に努めたい

【「白色瞳孔」や「斜視」の症状が現れるので、早期発見に向けた住民への啓発が重要と考えられます。そこで、小児がんの早期発見への取り組みを伺います。】

常任委員会 施設調査
レポート

経 済

復旧と建設から 町の未来を見る！



- 【主な視察のポイント】
- ①災害復旧状況
 - ②完成施設の様子
 - ③工事中箇所の状況
- 白滝地域
- ・上支湧別幹線10線橋災害復旧工事
 - ・北支湧別川沿線
 - ・白滝浄水場建設工事

経済常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

経済常任委員会
所管施設調査実施
7月18日、19日

- ・白滝発電所
- 丸瀬布地域
- ・上武利地区給水施設水源施設整備工事
- ・マウレメモリアルミュージアム
- ・丸瀬布第2号源泉施設増設工事
- 生田原地域
- ・安国予備水源開発事業
- ・いこいの森整備工事
- ・武利環状線武利橋災害復旧工事
- ・平和山公園通
- ・丸瀬布小学校耐震改修工事



災害からの復旧と 新たな名所の建設へ

- ・生田原農業用水貯水池
- ・キララン清里和室床等改修工事
- ・日進団地公営住宅建設工事
- ・生田原5号線中央橋長寿命化工事
- ・ノースキング電気設備更新工事
- 遠軽地域
- ・瀬戸瀬パークゴルフ場拡張工事
- ・東2線道路防雪工事
- ・遠軽道の駅建設工事
- ・ふくろ団地公営住宅建設工事
- ・市街地40号線道路改良工事
- ・山の手団地公営住宅長寿命化改修工事
- ・（仮称）えんがる町民センター
- ・展示林看板設置工事



常任委員会 施設調査
レポート

民 生

子どもたちは？高齢者は？ これからの施設と新たな施設



- 【主な視察のポイント】
- ①各地域の高齢者福祉施設の現状
 - ②新設及び改築予定の民間施設の様子
- 白滝地域
- ・白滝高齢者総合生活福祉センターほのほの
 - ・白滝歯科診療所

民生常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

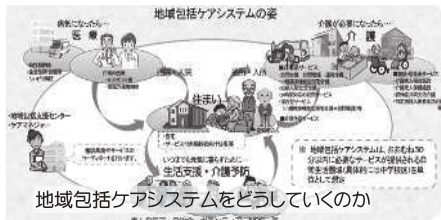
民生常任委員会
所管施設調査実施
8月9日、10日

民間施設が充実して いく一方で町施設の 老朽化も課題



- 丸瀬布地域
- ・マウレメモリアルミュージアム
- ・マウレ山荘
- ・いこいの森
- ・丸瀬布厚生クリニック
- ・丸瀬布歯科診療所
- 生田原地域
- ・安国老人憩いの家
- ・生田原老人憩いの家
- 遠軽地域
- ・遠軽道の駅建設工事
- ・有料老人ホームえにし
- ・小規模多機能型居宅介護支援施設夢ふうせんせせらぎ
- ・幼保連携型認定こども園こころ
- ・高齢者共同生活支援施設みのり荘

（総括より抜粋）
施設の修繕については利用者の支障がないよう速やかに対応し、老朽化の著しい施設の統廃合については、現在利用している方とよく協議し進めること



- 3 環境衛生に関する事項
- (1) 生活排水対策
生活排水処理基本計画の住民周知に努め、効果的な生活排水処理対策を。
- 4 住民生活に関する事項
- (1) 交通安全対策の推進
(2) 安全・安心のまちづくり
防犯、青少年等の健全育成に向け施策の展開を。
- 5 町税等に関する事項
- (1) 町税等の収入未済額徴収対策を講じ、さらなる収納率向上を。

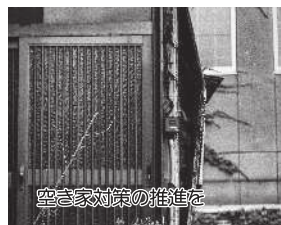
- 経済
- 1 農業及び林業に関する事項
- (1) 農畜産業の振興
新規就農者、担い手の育成確保等に取り組み、農業振興策の推進を。
(2) 農畜産物の振興
6次産業化に向けた支援、制度周知の充実を。
- (3) 林業・林産業
地域材利用推進方針に沿った森林整備を強化し、林業生産の振興を。
- (4) 間伐材の有効利用
(5) 民有林の整備
- 2 商工業及び観光産業に関する事項
- (1) 商工業の振興
起業推進対策等を検討し、特産品の開発促進を。
(2) 商店街の活性化
(3) 観光産業の振興
遠軽IC道の駅周辺施設整備と連携し新たな観光客誘致を。
- 3 消費及び労政に関する事項
- (1) 消費対策

- (2) 車両の管理
(2) 町営バス事業
- 6 車両管理に関する事項
- (1) 車両の管理
(2) 町営バス事業
- 7 都市計画に関する事項
- (1) 都市計画マスタープランを推進し、総合的・計画的なまちづくりを。
(2) 公共下水道事業に関する事項
- (1) 公共下水道の経営
(2) 下水道処理区域、下水事業の普及促進し、未整備地区は計画的な整備を。
- 9 水道事業に関する事項
- (1) 施設管理
施設整備と水源周辺の安全及び安定した水量と水質管理を。
(2) 水道管の更新
水道ビジョンに基づき計画的な更新を。



- 委員会開催状況
- 総務・文教常任委員会
5回開催、23件を審議
- 民生常任委員会
6回開催、31件を審議
- 経済常任委員会
6回開催、30件を審議
- 議会運営委員会
3回開催
- 主な審議項目
- ・決算審査特別委員会の設置
 - ・第5回議会定例会
 - ・平成30年北海道胆振東部地震
 - ・陳情等の取扱い結果
 - ・第5回議会定例会追加議案
- 常任委員長会議
1回開催
- 各会計決算審査要綱・決算審査特別委員会委員長、副委員長互選
- 会派代表者会議
1回開催
- ・第5回議会定例会人事案件
- ・議員から選任する監査委員
- 広報特別委員会
3回開催

- これまで活動した1年間を総括！
所管事務調査報告
- 平成29年第7回遠軽町議会（臨時会）で承認を得た所管事務調査について、総務・文教、民生、経済の各常任委員会から報告がありました。内容の一部を要約してお知らせします。
（議会ホームページに全文掲載しております。
<http://engaru.jp/gikai/>）
- 総務・文教
- 1 条例に関する事項
- (1) 条例・規則の見直し
自治立法の具現化を目指し、法務の充実・強化。
- (2) 分権条例の広報公聴
町民と協働してまちづくりを進めるための広報広聴を。
- (3) 子どもの権利条例
子どもの権利を守るため、制定に向けてより積極的な取り組みを。



- 2 財産管理に関する事項
- (1) 公共施設の適正管理
公共施設等総合管理計画に基づき検討を。
(2) 未利用財産等の管理
景観保全、環境美化のため、さらなる管理を。
(3) 未処理用地
所有権移転等処理し、引き続き財産台帳に登録を。
- 3 行財政に関する事項
- (1) 財政健全化
持続可能な自治体運営の確立を目指す財政運営を。
- 4 事務執行に関する事項
- (1) 組織機構の改革
- 5 学校教育に関する事項
- (1) 教育施設の整備・充実
将来を見据えた学校施設の整備・充実、学校統廃合の検討を。
(2) 給食食材の調達
地産地消の推進に努め、食育の推進を。
(3) 小中学校のネット環境

- 民生
- 1 社会福祉に関する事項
- (1) 高齢者世帯等の支援
遠軽町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険計画及び第7期介護保険計画について
- (2) 高齢者福祉
自治体が主体となり、地域住民による見守りなどの支援活動の充実を。
(3) 障がい者が安心して生活できる地域社会
第5期遠軽町障害者計画及び障害福祉計画に基づき、障がい者個々に応じた支援の充実を。
(4) 社会福祉事業者との連携
介護の担い手不足など厳しい状況に対応するためにも密な連携を。
(5) 子ども・子育て支援
子育て世代包括支援センターの設置や年間を通じた遊び場の検討を。
- 2 保健衛生に関する事項
- (1) 介護保険制度
遠軽町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画に基づき事業を推進、特に医療・福祉等関係機関と連携し、介護サービスの向上を。
(2) 地域医療体制
医療の充実、医師確保にさらなる努力を。

- 6 社会教育及び文化に関する事項
- (1) 生涯学習
拠点となる施設の整備と社会教育事業の充実を。
(2) 図書館事業
利用者ニーズに配慮し、開閉館の見直しを。
- 7 社会体育及び健康づくりに関する事項
- (1) 体育施設の整備
大会・合宿誘致のために施設の整備・充実を。
(2) その他に関する事項
- (1) 総合計画の推進
(2) 陸上自衛隊遠軽駐屯地等の増強・存続
(3) 交通弱者のために、公共交通体系の早期総合的検討を
(4) 石北線の存続について
(5) 白滝ジオパークの広域的推進について

えんがある話 (まちの声)

○安国地区在住

生田原フィッシングクラブ

○会長 由利 敏之さん

生田原フィッシングクラブの活動内容は、

フィッシングクラブの目的は、フィッシングを通じて、地域社会の振興に寄与することです。

具体的な活動を申し上げますと、資源保護のため、例年6月中旬に生田原川へヤマベの稚魚を放流しています。こちらは、生田原保育所と生田原中学校の協力を得て行っています。今の子供たちは、親から「川は危ないから近づくな」と言われて川に行かなくなりまして。

このような活動を通じて、子供達に川や魚を身近に感じて頂ければとも

思っています。

また、毎年7月中旬にヤマベ釣り解禁を祝うお祭り「いくたはらヤマベまつり」と同時にフィッシング大会が行われており、こちらの大会運営を行っています。生田原川は道内でも有数の釣りのスポットであり、道内各地から参加者が来られる人気イベントとなっています。

他には、河川への関心を深めていただくため、生田原川の河川清掃も行ったり、会員相互の親睦を深めるための親睦会を行っています。

私たちの足元にも

ほかに負けないすばらしい自然がある

このような活動に興味がある方は町民なら誰でも入れますので、生田原フィッシングクラブに入ってみませんか？初心者や女性也大歓迎です。

フィッシングクラブの活動を行うきっかけは。

私自身、魚釣りが好き



安国で釣具店を営んでいます！

なので、会員になったのですが、そもそも当時、

地域の特色を生かした町おこしの機運があちこちで高まっていました。仕事の関係で生田原に住むようになると、近くに生田原川のすばらしさを知りました。知床も素晴らしいですが、私たちの足元にも素晴らしい自然があります。山奥に入っていなくても、きれいなヤマベという魚が釣れます。職場と家庭の往復という毎日だけではなく、何か地域のためにしたいという思いが活動のきっかけです。

まちづくりについて思うところは。

遠軽町の「町の魚」は「ヤマベ」なんです。町として、ヤマベの生育のための環境保全の考えを示してほしいと思っています。生田原川においても河川改修が進み、昔見ることできた魚も今はなかなか見ることができなくなりました。

ただ、最近は大雨で河川が氾濫する事も多くなりましたので、最低限の河川の改修は必要だとは思っています。

しかし、ヤマベはこの地域では間違いなくわれ

らより先に住んでいる「先住者」なんです。

人間のエゴで極端に河川改修を進めるのではなく、自然や災害と折り合いを付けながら、彼らが住み続けることのできる環境を整備してほしいと思っています。ある意味、このような状況を人間が作り出したともいえるわけです。

あと、これからの遠軽町のためにも、若い人たちが生きがいを持てる町になってほしいと思っています。

今日の表紙

今日の表紙は、やまびこ温泉20周年記念イベント「やまびこ温泉まつり」で行われた、地元食材をふんだんに使用した世界で一つのオリジナルピザ作りの様子です。

この日は、ほかにやまびこ温泉名物「雨宮ラーメン」の大会など、20周年を記念した数々のイベントが盛大に行われました。